



2021年6月7日

各 位

会 社 名 株式会社 東芝
東京都港区芝浦1-1-1
代表者名 代表執行役社長 CEO 綱川 智
(コード番号: 6502 東、名)
問合せ先 執行役員
コーポレートコミュニケーション部長
石山 一可
Tel 03-3457-2100

基準日設定及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年6月30日を剰余金の配当の基準日と定めるとともに、同日を基準日とする剰余金の配当（特別配当）並びに2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間）及び2022年3月31日を基準日とする剰余金の配当（期末）の予想を下記のとおりとすることについて決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 配当予想の内容

基 準 日	1株当たり配当金（円）			
	特別配当 （6月30日）	第2四半期 （9月30日）	期 末 （3月31日）	年 間
前 回 予 想	未定	未定	未定	未定
今回修正予想	110円	40円	40円	190円
今 期 実 績				
前 期 実 績 (2021年3月期)	—	10円	70円	80円

2. 理由

当社は、2020年6月22日付「株主還元方針に関するお知らせ」で公表しておりますとおり、平均連結配当性向30%(注)以上の実現を基本とし、適正資本水準を超える部分については、自己株式取得を含む株主還元の対象とすることとしております。2021年5月14日付「剰余金の配当および追加の株主還元に関するお知らせ」で公表しておりますとおり、2021年3月期決算の結果と2022年3月期の業績見通しを踏まえ、適正資本水準を検証した結果、約1,500億円が当該適正資本水準を超えるものと取締役会として認識し、これを受けて同日開催の取締役会において、2021年度中に1,500億円の追加株主還元を行う方針を決定しております。そして、本日開催の取締役会において、当社の株主様には個人株主様を始めとして配当収入を好まれると考えられる株主様が一定程度存在することを考慮し、1/3の約500億円の特別配当を行うこととするとともに、1,000億円を上限として自己株式の取得を行うことといたしました。この結果、2021年6月30日を基準とする剰余金の配当(特別配当)を1株当たり110円の予想といたしました。

また、併せて、当期の通常配当については、2021年度の連結当期純損益の業績予想参考値(キオクシアホールディングス株式会社にかかる持分法投資損益の将来見通しを織り込んでいない参考値)が1,100億円であることから、平均連結配当性向30%以上を基本とする剰余金の配当等の決定権限の行使に関する方針を踏まえ、2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当(中間)及び2022年3月31日を基準日とする剰余金の配当(期末)をそれぞれ1株当たり40円、年間合計1株当たり80円の予想といたしました。上記特別配当を加えますと、年間合計1株当たり190円の予想となります。

(注) 当面の間、キオクシアホールディングス(株)にかかる持分法投資損益は、本方針の対象外とします。

以 上

* (注意事項)

本文書に記載されている事項には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信に基づく当社の予測です。実際の業績は、多様なリスクや不確実性により、当社の予測とは大きく異なる可能性がありますので、ご承知おきください。なお、リスクのうち主なものは以下のとおりですが、これに限られるものではありません。

- ・ 地震、台風等の大規模災害
- ・ 国内外における訴訟その他争訟
- ・ 当社グループが他社と提携して推進する事業の成否
- ・ 新規事業、研究開発の成否
- ・ 国内外の政治・経済の状況、各種規制等
- ・ 主要市場における製品需給の急激な変動及び価格競争の激化
- ・ 生産設備等に対する多額の資本的支出と市場の急激な変動
- ・ 金利為替等の金融市場環境の変化